

緑のセンターだより

NO.113 平成20年8月1日発行

発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

オオウバユリ

Cardiocrinum cordatum var. *glehnii* ユリ科 ウバユリ属

ウバユリ属は、ユリ科ユリ属 (*Lilium*) に似た多年草でアジアに3種が分布します。茎には多数の葉をつけ、葉には長い柄があります。葉身は心臓形で網状脈を有します。花は総状に多数つき、花冠は緑白色、斗状でやや左右相称となっています。花被弁と雄しべは6個、雄しべの葯はやや丁字状につきます。子房は蒴果を作り多数の種子が出来ます。古くはユリ属に分類されていましたが、牧野博士により新属名が設けられました。日本名ウバユリの意味は、姥百合のことで花の咲く時は、たいてい葉が枯れているので、花の時歯(葉)がもう無いことを、女兒の世話をする乳母が、娘が成人して花の十八となった頃には、もう歯の抜けた姥になるのに例えてこの名がついたと言われています。

オオウバユリはウバユリの変種で、西南日本の低山地を中心に発達したウバユリとよく似ていますが、本州中部以北、北海道、南千島、サハリンの温帯から亜寒帯のより寒い山地を適地として、発達した林内の日陰に生えます。茎の高さは2m近くにもなり花の数も8~24個と数多くつきます。花は7~8月に開花し淡緑白色で、長さが15cm位あり横向きにつき、開花期間は4~5日間です。花には1cmば

かりの太い柄があり、柄の下方に広い披針形で6~7cmの苞がありますが早くに落ちてしまいます。

果実はだ円形で直立し長さ5cm程度です。種子はやや卵円形で平たく長さ5mm位で、周囲に広い翼があつて風を受けて飛散します。

葉は茎の中央よりやや下方に集まり、柄の長さは15~22cmあり肉質で太く、葉面は卵状心臓形で長さ20~30cmと大きく、表面は濃い緑色でつやがあり、下面は淡緑色をおびます。茎は中空の太い円柱形で直立し、基部の太さは4cm以上に達します。

オオウバユリは、多年草で種子から発芽して6~8年目によく開花し、開花した株はその後枯死してしまう、典型的な1回繁殖型の植物です。植物体がある程度生長すると、母鱗茎の基部に数個の小鱗茎を形成し、開花結実し

た親株が枯死すると、親株から分離独立して、幼植物を形成するという栄養生殖も行います。これらは、次世代を種子から始めるのに比べればはるかに効率が良いことになります。

アイヌの人々は、鱗茎を6月末頃収穫し焼灰に入れて焼いたり、刻んで粥に入れて食べました。また、刻んで生乾きにして臼で挽き円盤状に固めて乾燥させ冬に粥に入れて食べたり、澱粉を取って利用していました。(M.T.)

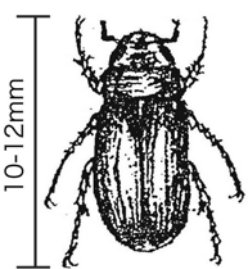
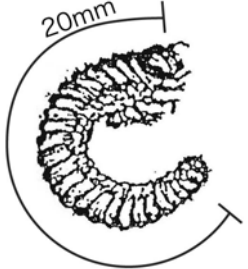



8月の園芸

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00
 ☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
 ☆百合が原公園 772-3511 木、日曜日
 ☆平岡樹芸センター 883-2891 水、土曜日

◆オンコの害虫とその防除① ナガチャコガネムシ

ナガチャコガネムシの被害	マツ類、ツツジ類、カエデ類など多くの樹木の根や芝生、シバザクラ他の宿根草など多くの植物の根を、幼虫が食害します。
生態	<p>ナガチャコガネムシの成虫は光沢のある茶褐色で、体長 10～12cm ほどの大きさです。6 月中、下旬～8 月上旬の 18～20 時頃に、交尾のため植え込みの下から地表に這い出てきます。雌は交尾後、産卵のために再び地中にもぐり、10～15cm の深さに約 30 粒の卵を数日にわたって数粒ずつ産卵します。やがて卵は 20 日ほどで孵化して幼虫になり、地表から 20cm の深さに生息し、秋まで植物の根毛を食害します。その間、2 回脱皮して約 20mm ほどの 3 齢幼虫になり、秋、気温が下がると約 30cm の深さにもぐって越冬します。春になると地表面近くに移動し、5 月下旬から蛹になります。蛹期間は 2～3 週間です。毎年発生を繰り返します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;">  <p>10-12mm</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>20mm</p> </div> </div>
駆除	<p>1. 成虫の駆除 6 月中、下旬から発生を確認したら、 ・捕殺して数を減らします。 ・スミチオン乳剤 1000 倍液、ダイアジノン粒剤を、発生状況に応じて 2～3 回散布します。</p> <p>2. 幼虫の駆除 8 月下旬から、10 日おきに ・土中 20cm の深さまで薬液を灌注するため、細い鉄棒などで 10cm 間隔に穴を開け、十分に灌水しておきます。 ・スミチオン乳剤 1000 倍液やディプテックス 10 乳剤 100 倍液を、1 平方メートルあたり 5 リットル程度をジョウロで灌注します。 ・灌注機を使用すると更に大きな効果が期待できます。</p> <div style="text-align: right;">  </div>

◆オンコの害虫とその防除② カイガラムシ

・イヌガヤワタカイガラムシ

年に一回発生する成虫は、終齢幼虫で越冬し、6～7 月に産卵します。白い綿のような卵嚢(卵塊)を作るのが特徴です。ロウ物質に覆われていない若齢幼虫が現れる 6 月中旬～8 月が防除の適期です。

・イチイカタカイガラムシ

年に一回発生して若齢幼虫で越冬し、6 月になると盛んに樹液を吸って生長します。そのため葉や枝にスズ病が発生し、ベタベタと黒光ります。6 月中旬～8 月にかけて幼虫になります。吸汁加害する時が防除適期です。

・カイガラムシの防除

水圧の高い水道水で飛ばす。

スミチオン乳剤、アクテリック乳剤など＋展着剤を 7～10 日おきに 5～6 回散布する。

オルトラン液剤＋アクテリック乳剤＋展着剤を散布する。

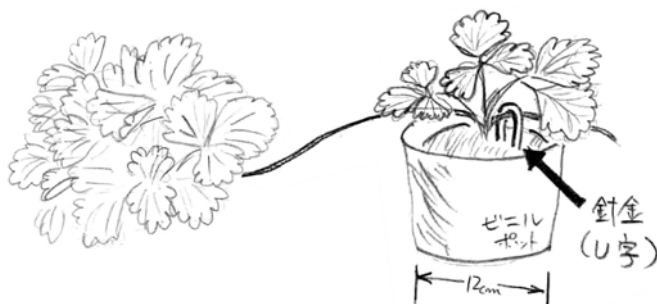
◆いちごの定植

育苗

よい苗を育てて、8月末までに定植をしましょう。

9月20日を過ぎる頃からイチゴは花芽ができませんので、この時期までに株を十分な大きさにする必要があります。8月の苗作り作業の正否が翌年の実の出来具合を左右します。

- ① 7月25日頃から8月5日頃までに12cmのポットにランナーの子苗を受けます。この時期の子苗の大きさは葉が3枚から4枚程度が良いです。
- ② 8月5～15日頃にこの苗のランナーを切り離し親株から独立させ、3日ほど明るい日陰でならします。
- ③ 定植前に畑に堆肥施用と施肥を行います。堆肥は植え付けの2週間前に、施肥は1週間前に施用し、土壌によく馴染ませます。
- ④ 出来れば定植前に植え付け圃場を有色ポリフィルムでマルチングします。



定植

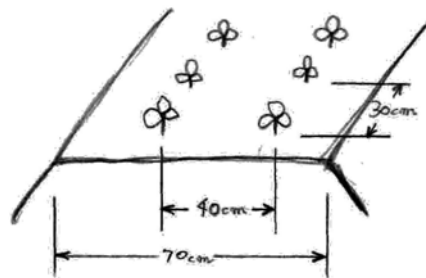
- ① ポットで根を十分に発育させた4～5葉苗を、8月下旬に新しい畑に定植します。

※ 深植は生育が停滞するので、浅植を心がけること



《施肥》ポットの土10リットル当たり
 完熟堆肥: 200g
 過リン酸石灰: 10g

定植畑 1㎡当たり
 完熟堆肥: 3～5kg
 野菜化成肥料: 100g
 石灰: 100g



◆ Q & A ◆

Q 花の少ない秋に咲く花として昨年買い求めたダイモンジソウですが、真夏の今(7/15)花が咲き始めています。狂い咲きでしょうか？教えてください。併せてダイモンジソウの特性や種類についてもお願いいたします。(手稲区 Pさん)

A ダイモンジソウ(*Saxifraga fortunei* var. *incislobata*)は花の形が「大」の字に似ていることから。その名がつけられています。お話のように普通は秋涼しくなった頃に花が咲きます。

ダイモンジソウにはいくつかの変異種と数多くの園芸種(交配種)があり、北海道で作られているものの多くは園芸店を通じて道外から入ってきたものです。

主な種類にダイモンジソウ、ミヤマダイモンジソウ、ジンジソウ、ユキノシタ、ベニバナダイモンジソウ、ウラベニダイモンジソウ、モミジバダイモンジソウ、ヤクシマダイモンジソウ、センダイソウなどがあり、固有名詞のついた園芸種は数多く季節になると園芸店を賑わせます。

これらの多くの種類は晩夏から秋にかけて開花しますが、種類によっては晩春から夏に咲くものもあります。お問い合わせの今咲いているものはユキノシタと呼ばれている種類ではないかと思われます。ユキノシタは北海道でも山裾や溪流のしぶきのかかるようなところで咲いているのを見かけることがありますので機会がありましたら行ってみてください。

8月～9月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
ハイビスカスの管理	8/16（土）	13:30～	8/12～	無料
ダリアの夏～秋の管理	8/23（土）	〃	〃	100 円
サボテンの秋冬の管理	9/14（日）	〃	〃	無料
鉢花・草花・球根類の秋管理	9/17（水）	〃	9/11	〃
展示会				
夏を楽しむ植物展	8/5（火）～24（日）			
サボテンと多肉植物展	9/9（火）～15（月・祝）		札幌カクタスクラブ	
クラフト講習会				
アレンジ押し花講習会「アレンジフレーム」	8/22（金）	10:00～	8/12～	1,500 円
現代押し花アート講習会「花のワゴン」	8/19（火）	〃	〃	1,000 円
あけび工房講習会「ふじづるの平かご」	8/27（水）	〃	〃	2,500 円
現代押し花アート講習会「花束」	9/6（土）	〃	〃	1,000 円
アレンジ押し花講習会「額」	9/19（金）	〃	9/11	3,000 円

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
公園の生き物観察会	8/7 (木)	13:30～	7/11～	200 円
多肉植物の栽培	8/下旬	〃	8/12～	200 円
堆肥づくり講習会	9/20 (土)	〃	9/11～	〃
展示会		日	料金	
多肉植物展	8/19～31		入館料 130 円	
ダリア展	9/9～15		〃	
秋の洋ラン展	9/23～28		〃	

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 883-2891

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
オンコの整枝剪定	8/24 (日)	10:00～ 13:30～	8/12～	無料
モミジとカエデの剪定	9/7 (日)	10:00～ 13:30～	〃	〃
クラフト講習会				
アレンジ押し花講習会「アレンジフレーム」	8/21 (木)	10:00～	8/12～	1,500 円
サプライズフラワーアレンジ教室 「初秋の生花をやさしい音色とアレンジ」	9/4 (木)	〃	〃	2,500 円
アレンジ押し花講習会「額」	9/18 (木)	〃	9/11	3,000 円

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

※「緑のセンターだより」バックナンバー公開中※